

令和3年2月26日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口常雄

き ず な

す 住 み よ い げん 元 き 気 な みどり 緑 の さと おお 郷 大 くさ 草 の 野

漏斗岳登山道の下払い

6年生のお別れ登山が安全に行われるように、2月6日の土曜日に道づくりをしました。夜中の雨で、山肌が滑りやすく安全に配慮しながらの作業でした
 (下の写真:今回の作業に従事したオッサンズ、登り切って一安心！)



(こんな倒木が何カ所も！チェーンソーが大活躍！)



2月18日(木)に予定をしていた6年生のお別れ登山は、前日から雪が降り、3月4日(木)に延期になりました。子どもたちも楽しみにしているようで、中止にならなくて一安心のようです。今度は天気恵まれますように！！

真剣な表情で! 「サガン鳥栖サッカー教室」2月9日(火)



この日の「サガン鳥栖サッカー教室」5、6年生が教わっていました。

サッカーや野球をする時に「何が大切か」を指導者が教える時によく言われる言葉が、「ボールを渡す人のことをよく見て、その人が受け取りやすいところへ送る」と言うことです。

この日も、言われていました。

相手を思う気持ちが一番大切なのはどの競技も共通なようです。

「市長（市民）との意見交換会」を開催

今回、市から地域コミュニティの役員との意見交換会開催の要請があつて行われました。

現在、市が計画している施策のうち、3点に絞って市長が説明を行い、その施策に対するコミュニティ役員の意見を聞くという形式で行われました。

その3つの施策と言うのは、①コロナ関連対策、②新幹線嬉野温泉駅開業、③嬉野市庁舎の在り方について、です。

①では、最新の関心事はワクチン接種にあると思われるが、市としては集団接種もあるがかかりつけ医による接種も考えたいと説明が



あり、「先生と話しながらできる、かかりつけ医による接種をぜひお願いしたい」と要望があつていました。新幹線に関しては、武雄駅乗換の固定化への懸念と具体的な運航ダイヤがどうなるか、等の質問があつていました。

駅設置要望の原点は、嬉野温泉駅が通過駅になることではなかったはずですが、いつまでも不可能なフリーゲージにとらわれずに、少しでも素晴らしい施設として次代に引き継ぎたいと思います。③は、塩田庁舎が本庁舎でなくなることを危惧する人達に検討委員会の答申に反対する動きがあるようですが

「市全体の将来の利益を考えたときに、どうあるべきか！」を優先して施策を決定してほしいと思います。

今回参加いただいた皆さん、どうもお疲れ様でした。市の職員の皆さんもお疲れ様でした！

<3月7日（日）の「校区内一斉清掃」にご協力ください！>

☆☆☆ お詫び ☆☆☆

今回の事務局長だより「きずな」は、25日夜開催の「市長との意見交換会」を掲載したため、全戸配布用の印刷・仕分け作業が間に合わず、班回覧だけにいたしました。ご容赦ください！

「少しずつの改革を」
へへ編集後記へ

日本は法治国家だから、当然、行政機関で働く人たちは法令に従って働くのは当たり前だと思えます、私もそうしてきました。

昨年四月から地域コミュニティの事務局を担当してきて最近思うのは、「もう少し、コミュニティに裁量権があつてもいいのではなかるうか？」ということですが。

もちろん市としては公金を支出して運営をさせている以上、その使途についての目配りが必要なのは分かりますが、地域の特性や強みを生かして、その地域の住民福祉に有益な事業を展開する、ということもシンプルな原則が、どのコミュニティもなるべく等しく横並びにと言う、これまた行政側の原則的な要請によつて、いささか埋没してはいないかと感じることもあります。

これでは、「地域で出来ることは地域で」という共生のための活動や事業が少し窮屈な感じになるのではないかと心配してしまいます。

行政は、次々に発生する新規の事態への対応で多忙であるはずですが、もっとコミュニティを活用するような事業を考え、業務委託でもする方向になればいいのと思うが、皆さんはどうなんだろう？